

令和元年度 第3回

安 城 市 博 物 館 協 議 会

令和2年1月23日（木）
午後1時30分～午後3時
安城市民ギャラリー・会議室

1 市民憲章唱和

2 あいさつ

3 協議事項

（1） 令和元年度開催済事業報告

（2） 令和2年度事業計画

4 その他

（1） 歴史博物館の大規模改修工事について

安城市博物館協議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

	氏 名	選任区分
会 長	高 山 忠 士	学 識 経 験 者
副会長	加 藤 り せ 子	社 会 教 育
委 員	鈴 木 健 吾	学 校 教 育
委 員	市 川 と し 子	学 識 経 験 者
委 員	荒 井 信 貴	学 識 経 験 者
委 員	永 谷 史 朗	公 募 委 員

安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

(1) 令和元年度開催済事業報告

ア 利用状況

(ア) 月別入館者数

月	展示観覧者						行事 参加者	文献資料 室利用者	その他	延べ入館 者合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人	計	大人計	合計				
			中学生以下		中学生以下計					
4	252	252	2, 126	2, 674	2, 378	2, 926	3, 346	20	741	7, 033
			548		548					
5	227	227	1, 684	6, 583	1, 911	6, 810	2, 133	21	668	9, 632
			4, 899		4, 899					
6	142	142	1, 480	4, 310	1, 622	4, 452	2, 469	16	644	7, 581
			2, 830		2, 830					
7	569	569	401	1, 118	970	1, 687	1, 214	29	680	3, 610
			717		717					
8	1, 772	1, 772	1, 578	2, 359	3, 350	4, 131	3, 749	32	634	8, 546
			781		781					
9	180	180	200	335	380	515	790	0	104	1, 409
			135		135					
10										
11										
12										
1										
2										
3										
計	3, 142	3, 142	7, 469	17, 379	10, 611	20, 521	13, 701	118	3, 471	37, 811
				平成3 0年度 4～8月	27, 115	9, 015	164	4, 018	40, 312	

イ 収集・保管活動

(ア) 資料整理状況

a 歴史資料

(a) 寄贈資料群 17件

- ・高木町稲垣家資料
- ・御幸本町相木氏資料
- ・木戸町平岩家資料
- ・昭和町森下家資料
- ・赤松町安藤家資料
- ・末広町笠原家資料
- ・桜井小学校資料
- ・今池町神田氏資料
- ・岡崎市井上氏資料
- ・桜井西町町内会資料
- ・環境都市推進課資料
- ・住吉町石川家資料
- ・埼玉県上尾市榑原氏寄贈桜井神主野田家文書
- ・埼玉県上尾市榑原氏寄贈糟谷家資料
- ・碧海郡役所資料
- ・悠基斎田資料
- ・常設展示室取り出し資料

(b) 購入資料 3件4点

- ・本多正信書状（軸装） 1点
- ・加藤嘉明伝 1冊
- ・駿河土産 2冊

(c) 整理資料 文書資料3, 771点、民具51点

- ・昭和町森下家資料 文書3点
- ・篠目町野村家資料 文書426点 民具2点
(うち受入文書261点、民具2点)
- ・熊谷家瓦 民具14点
- ・法連町筒木家資料 文書19点
- ・法連町筒木家資料 文書6点
- ・日の出町稲垣家資料 文書805点、民具6点
- ・里町杉山家資料 文書24点、民具1点
- ・河野町石川家資料 文書1点
- ・入手不明資料 文書3点
- ・木戸町春日神社資料 文書3点
- ・花ノ木町杉山家資料 文書5点
- ・刈谷市大瀧氏資料 文書17点
- ・東端町 横山家資料 文書3点
- ・小川町 黒柳家資料 文書47点

- ・東栄町 石川家資料 文書27点
- ・碧海郡役所資料 文書155点
- ・悠基斎田資料 文書275点
- ・常展より取り出し資料 文書39点
- ・堀内町熊谷資料 文書1,290点、民具25点
- ・桜町石川家資料 文書623点、民具3点

※小川町古田家資料 継続中

※今年度中に、寄託資料（赤松・尾崎町内会等）、寄贈資料（小川町古田家資料、里町杉浦家資料、埼玉県上尾市榑原氏寄贈桜井神主野田家文書、同寄贈糟谷家資料）の整理により、合計12,000点の資料整理を予定。

ウ 展示事業

（ア）常設展展示替え

月 日	変更箇所	内 容
8月8日	古代集落、近世コーナー	博物館実習生による

（イ）特別展・企画展

	区 分	名 称	期 間	目標値	実績値
①	企画展	安城の今昔1 火消しまいる ー消防の歴史と道具ー	4月13日 ～6月30日	7,500人	9,638人
②	特別展	1964 ー東京五輪がもたらしたものー	7月20日 ～9月1日	4,500人	3,573人
合 計				12,000人	13,211人

*①「安城の今昔1 火消しまいる ー消防の歴史と道具ー」報告済

②「1964」→P6

②特別展「1964 ―東京五輪がもたらしたもの―」

- 1 会 期 令和元年7月20日（土）～9月1日（日） 実開館日39日
- 2 観覧者数 3,573人【目標4,500人】1日平均92人
- 3 期間中の催し物（主なものはP7「4 その他事業」を参照）
- 4 音声ガイドの利用状況 980人 利用率27%
- 5 展示図録 入庫800冊、定価1,400円、販売数151冊
- 6 展示について
 - （1）展示点数179点（うちパネル展示24点）
 - （2）聖火ランナーの伊吹昭人氏が実際に使ったトーチやウェアの展示にテレビ局のみならず、一般観覧客の注目も集められた。また、小学生に当時の経験についてお話されたり、展示記念講演会を聴講されたりするなど、当展示に大いにご協力をいただいた。
- 7 観覧者について
 - （1）展示開始ごろは中日新聞や朝日新聞で紹介されたものの、観覧者数は中盤にかけて伸びなかった。しかし、8月下旬からテレビやラジオで紹介されたことで更に周知されるようになり、最終週だけで1,000人を超える観覧者数を記録した。
 - （2）展示室の入口前に設けた聖火台の造作を観覧客がSNSに投稿することで、当展示を知るきっかけのひとつになったと思われる。
 - （3）東京オリンピックまであと1年に差し迫った中で行われたが、世間の関心が薄かったのだろうか、時期尚早だったと思われる。

エ その他事業

(ア) 講演会・講座

a 展覧会記念講演会

開催日	演 題	講 師	聴講者
5月18日	「秋葉信仰と防火」	堀江登志実氏 (岡崎市美術博物館学芸員)	47
7月20日	「1964年東京オリンピックが残したもの」	松林秀樹氏 (平成国際大学スポーツ健康学部准教授)	40

合計87人

b 歴博講座

開催日	演 題	講 師	聴講者
6月15日	「安城の消防の歴史 ―自衛の時代から警防団まで―」	三島一信 (本館学芸員)	16
8月17日	「オリンピックの前と後」	石川貴信 (本館学芸員)	34

合計50人

c 入門講座

開催日	演 題	講 師	聴講者
4月13日	「目からウロコ安城史」	高山忠士氏 (安城市歴史博物館元館長)	28
5月11日			25
6月8日			26
7月13日			25
8月10日			25

*全5回、定員30人

合計129人

d 安城歴博・中京大学連携講座

開催日	演 題	講 師	聴講者
5月25日	「弘治年間の今川・武田・織田の拮抗―三河怨劇を取りまく政治環境―」	村岡幹生氏 (文学部教授)	94
6月22日	「尾張徳川家の姫君と武家社会」	白根孝胤氏 (文学部教授)	57
7月27日	「壬申の乱と東海道の古代氏族」	西村健太郎氏 (文学部古文書室学芸員)	48

*全3回

合計199人

(イ) 展示関連イベント

開催日	タイトル	参加者
4月13日～ 6月30日	安城の“火消し”を体験(刺し子で小物づくり)	187

4月13日～ 6月30日	クイズ火消しまいる!	1, 903
4月13日～ 6月30日	火消しまいる撮影コーナー	781
4月13日～ 6月30日	きせかえ顔出し	678
4月13日～ 6月30日	安城の“火消し”を体験(民具に触れる)	2, 009
7月20日～ 8月29日	1964年写真撮影コーナー	1, 580
7月20日～ 9月1日	遊べる鉄道ジオラマ新幹線を走らせよう!	942
7月20日～ 9月1日	可愛くデコろう!フォトフレームづくり	808
7月20日～ 9月1日	謎ときクイズラリーにチャレンジ! 聖火の火を守れ!	589

合計9, 477人

(ウ) 体験講座等

開催日	講座名	講師	参加者
4月20日	はじめての刺し子体験 ～おしゃれ小物を作ろう～	伊藤恵梨氏 (伊藤刺繍店)	27
5月3日 5月4日 5月5日	鎧の試着会	指定管理者 博物館ボランティア	59 77 229
6月29日	三河仏壇伝統工芸士の技に学ぶ 「彫金を体験」	小林敏宏氏・村井義幸氏	17
5月9日 5月23日 6月13日 6月27日 7月11日 7月25日	姫きものを作ろう	榊原清美氏 (古裂美術工房)	14 14 14 13 15 15
8月24日	オリジナル風鈴づくり	指定管理者	47

合計541人

(エ) 歴博演芸場

開催日	演題・演奏者	鑑賞者
4月27日	歴博演芸場「衣浦東部広域連合消防音楽隊 ふれあいコンサート」	253
8月30日	歴博演芸場「格調高き昭和歌謡」	236
8月31日	歴博演芸場「安城の芸妓衆」	245

合計734人

(オ) 歴博イベント

開催日	演題	参加者
4月27日	消防車がやってくる！消防体験デー	962
7月26日 ～7月28日	夏休み自由研究相談会	40
8月30日 ～9月1日	ナイトミュージアム	888
10月5日	安祥文化のさとまつり	722

合計2,612人

(カ) 上映会

開催日	タイトル	鑑賞者
4月28日	昭和の名作シネマ 若い人	132
5月26日	昭和の名作シネマ 愛と死をみつめて	140
6月30日	昭和の名作シネマ 哀愁の夜	146
7月28日	昭和の名作シネマ けんかえれじい	92
8月25日	昭和の名作シネマ スラバヤ殿下	84

合計594人

(キ) 刊行物

a 特別展・企画展図録（パンフレット）

特別展「1964－東京五輪がもたらしたもの－」

A4 84頁 800部

b 安城歴史研究 第45号（予定）

A4 102頁 230部

c 年報 第28号

A4 54頁 350部

d 「れきしみち」

各 A4 8頁 2,500部

No.113 7月号、No.114 10月号、No.115 1月号、No.116 4月号（予定）

e 催し物案内

2019年 4月～9月 86,500部

2020年 4月～9月 86,500部

※2019年10月～2020年3月は休館のため発行せず。

f その他

安城市文書史料集成第7集（予定）

A4 200頁 400部

(ク) 見学学習

■ 市内小学6年生(企画・特別展、常設展、収蔵庫) 見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数
5 14	火	里 町 小	6	100	6 26	水	高 棚 小	6	49
5 24	金	二本木小	6	134	6 27	木	作 野 小	6	118
5 28	火	安 北 小	6	130	6 28	火	祥 南 小	6	66
5 29	水	丈 山 小	6	96	7 2	金	明 和 小	6	72
5 31	金	梨の里小	6	74	7 2	金	志 貴 小	6	25
6 4	火	安 中 小	6	100	7 3	水	安 東 小	6	76
6 5	水	新 田 小	6	82	7 5	金	桜 町 小	6	129
6 6	木	桜 井 小	6	139	7 9	火	三 安 小	6	89
6 11	火	今 池 小	6	74					
6 12	水	安 南 小	6	97					
6 18	火	錦 町 小	6	93					
6 19	水	安 西 小	6	94	小学校児童数 計			1,944人	
6 25	火	桜 林 小	6	107	H30			2,028人	

● 市内小学校(6年生見学学習以外 参考)

月日	曜	学校名	学年	人数	備 考	
5 15	水	安 南 小	6	65	総合学習	
					小学校児童数 計	65人
					H30	117人

■ 市内中学2年生 (常設展、埋文セ、企画・特別展) 見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数
5 7	火	明 祥 中	2	115	5 22	水	安 北 中	2	274
5 8	水	安 南 中	2	275	5 23	木	桜 井 中	2	205
5 9	木	安 西 中	2	264	5 30	木	安 祥 中	2	191
5 16	木	東 山 中	2	255	6 7	金	篠 目 中	2	210
					中学校生徒数 計			1,789人	
					H30			1,772人	

● 市外小中学校(児童・生徒) (常設展、埋文セ、企画・特別展) 見学

月日	曜	学校名	学年	人数	備 考	
7 17	水	岡崎特別 支援学校	中学 部	6	常設展見学、埋蔵文化財センター見学、土器さわり体験	
(注) 改修工事に伴い、市内小中学校受入は1学期のみとなり、市外からの見学学習はご遠慮いただいた。					市外中学校生徒数 計	6人
					H30	254人

(ケ) 中高生の職場体験、教員の異業種体験受け入れ状況について

【市内中学校2年生】5～6月 9:00～15:30

	学 校	発掘 体験	土器 洗い	見学学 習補助	文化財 保護	資料 整理	収蔵庫 見学	土器 作り	インタ ビュー	受 付	備 考
1	桜井中	見学：坂戸	○	○	○			○	○	○	3日間・女子1
2	篠目中	見学：坂戸	○	○	○			○		○	2日間・男子3
3	安祥中	○三ツ塚	○	○				○		○	3日間・男子2
4	安南中	○寺領	○	○	○			○		○	3日間・男子3
5	安北中	○寺領	○	○	○			○		○	3日間・男子1
6	明祥中	○寺領	○	○	○			○		○	3日間・男子1
7	東山中	○三ツ塚	○	○	○			○		○	3日間・男子2
※文化財保護活動：史跡巡回（点検、除草）										参加生徒数 計	13人
										(H30)	14人

【教 員】7～8月 8:30～17:00

	所属校	発掘 三ツ塚跡跡跡	土器 洗い	学芸資 料整理	文化財 保護	体験資 料整備	収蔵庫 見学	火切り 板加工	受付・イベン ト補助	懇談	10年経験者研 修初任者研修
1	高浜高校		○		○			○	○	○	3日間
2	安北中		○		○			○	○	○	3日間
3	安北中	○		○				○	○	○	2日間
4	安北中	○	○	○					○	○	1日、半日2
5	安北小		○	○					○	○	3日間
6	桜井小	○				○			○	○	1日
※文化財保護活動：史跡巡回（点検、除草）										参加教員数 計	6人
										(H30)	7人

(コ) 博物館実習

博物館学芸員養成課程を有する大学からの要請により実習を行った。

期 日：7月31日（水）～8月2日（金）、8月6日（火）～8月8日（木）（6日間）

実習生：愛知大学、愛知学泉大学、愛知県立大学、岐阜女子大学、静岡大学、

東海学園大学、八洲学園大学、立命館大学

9人

実習日程

開催日	午 前	午 後
7月31日	博物館見学	市民ギャラリー・埋文センター見学 常設展展示替え説明
8月1日	博物館業務（講義） 文化財保護（講義）	美術工芸資料の取扱い
2日	民具資料の取扱い	民具資料の取扱い
6日	常設展展示替え準備	常設展展示替え準備
7日	考古資料の取扱い	考古資料の取扱い
8日	常設展展示替え	常設展展示替え

オ その他

(ア) 無料開館

5月19日（日）、国際博物館の日（5月18日）にちなみ、常設展示を観覧無料にした。

観覧者：一般76人、小中学生22人

(イ) 名鉄JR合同ウォーキング

4月30日（火）開催の名鉄JR合同ウォーキングのチェックポイントを誘致するため、庭園の整備を行った。

観覧者：一般685人、小中学生83人

(2) 令和2年度事業計画

ア 2年度展覧会

種別	テーマ	期 間	開館日数
企画展	安城の今昔2 こよみとくらし —冬暖夏涼・季節道具—	4月25日～ 6月28日	57日
特別展	終戦75周年記念 戦争に行くということ	7月18日～ 9月13日	51日
特別展	江戸の遊び絵づくし	10月 3日～11月15日	38日
企画展	描かれた戦争 —警察官が見た戦中戦後の愛知—	12月 5日～ 1月10日	25日
特別展	開館30周年記念 家康と松平一族	1月30日～ 3月 7日	32日

イ 講座・歴博イベント・上映会など

別紙催し物案内（案）参照

令和2年度企画展開催要項（案）

1 名 称 企画展「安城の今昔2 こよみとくらし—冬暖夏涼・季節道具—」

2 開催期間 令和2年4月25日（土）～6月28日（日） 実日数57日

3 主 催 安城市歴史博物館

4 趣 旨

平成31年度から始まった企画展「安城の今昔」では、博物館に所蔵されている民具を中心とした展示を行っている。第2回では、暦の移り変わりを通して、季節を感じさせる道具とそのくらしについて展示する。

私たちは暦の節目に合わせて新年をお祝いし、お祭りが催され、また自然の変化に合わせて着るものを替え、旬な食材を食べ、暑さ寒さに備えてきた。つまり私たちのくらしは暦と季節の変化に応じ、くらしの様子が変わり続けている。

その生活に欠かせないのが道具である。道具がなければ家事や食事はもちろん、暑さや寒さへの備えもできない。それらの道具には、環境に適するための工夫が込められているものや、節目に行う行事等で使用する道具もある。時代と共に形が変わるものもあれば、変わらないものもあるため、道具ひとつとっても、道具を通してくらし方の違いを見つけることもできる。

今回の企画展では、暦と季節の変化に合わせた生活の移り変わりやその様子を紹介する。

5 会 場 安城市歴史博物館 企画展示室

6 観 覧 料 無料

7 展示構成

（1）初春を迎えるために

正月前に準備された食べ物にまつわる資料等を紹介

（2）暖かく桜の咲くころ

暖かさが増す中での洗濯に関する資料等を紹介

（3）納涼を求めて（再現展示含）

暑い中で過ごす家庭の様子を再現、涼んだり虫を駆除するために用いる民具を紹介

（4）肌寒く暗くなる、年の暮れ（再現展示含）

寒さの中で過ごす家庭の様子を再現するとともに、照明具や温暖具を紹介

8 関連事業

（1）記念講演会等

ア 記念講演会

講師：久保 禎子氏（一宮市尾西歴史民俗資料館専任課長兼学芸員）

日時：5月16日（土）14：00～

タイトル：未定

イ 歴博講座

講師：坂本晃基（本館職員）

日時：6月20日（土）14：00～

タイトル：未定

（2）イベント

昔のくらし体験、体験講座、クイズコーナー等を予定

（3）展示説明会

土曜日2回 14時から

9 印刷物

- ・パンフレット A4判、8ページ、オールカラー、1,600枚
- ・ポスター A3判、オールカラー、400枚
B2判、オールカラー、700枚
- ・チラシ A4判、表面カラー・裏面2色刷り、8,000枚

令和2年度特別展開催要項（案）

1 名 称 終戦75周年記念特別展「戦争に行くということ」

2 開催期間 令和2年7月18日（土）～9月13日（日） 実日数51日

3 主 催 安城市歴史博物館

4 趣 旨

明治6年（1873）、近代的な軍隊整備を目指した明治政府により徴兵令が制定されると、一定の年齢に達した男子が軍人としての訓練を受け、場合によっては戦場に送られる体制ができあがった。この徴兵制の下、昭和20年（1945）に終戦を迎えるまで、多くの人々が兵士として戦場を経験することになる。

安城市域でも、特に昭和6年の満州事変以降は、召集・志願を問わず、数多くの人々が出征した。彼らは一括りで将兵と呼ばれるが、その配属先は様々で、中国や南方の戦地で戦った人もいれば、飛行機の整備兵として各地を飛び回った人、内地で兵士の教育に携わった人、兵器の製造に携わった人などがある。

昭和20年の終戦から70年以上が過ぎ、兵士として戦争を経験した人々の多くが亡くなっている。それに伴い、当館には近年、彼らの遺品が数多く寄贈されるようになった。今回の展覧会では、彼らが遺した品々を通して、安城出身の将兵たちが経験した「戦争に行く」とはどのようなものだったのか、彼らが過ごした「戦場」とはどのようなものだったのかを紹介する。

5 会 場 安城市歴史博物館 企画展示室

6 観 覧 料 400円（予定）

7 展示構成（予定）

（1）「兵士」になる

徴兵制の仕組み、変遷をパネルや関連資料で説明

（2）軍隊に入る

陸軍歩兵第18連隊所属者の資料をもとに、初年兵の日課や内務教育、訓練を説明

（3）中国大陆で戦う

中国大陆に派遣された兵士たちの資料（駐屯における注意事項（衛生・兵器使用）・兵士教育等印刷物、写真等）を、その戦況とともに紹介

①満州事変以降、「満州」での「治安維持」活動

②日中戦争勃発以降、中国中部地域の戦闘を中心に

（4）兵士を教える

盛岡・前橋陸軍予備士官学校に配属された将校の所持資料（教材）をもとに、陸軍の士官教育の一端を紹介

（5）兵器をつくる

小倉陸軍造兵廠に所属した技術将校の所持資料（兵器図面・幹部用指示書など）を中心に、兵器製造の一端を紹介

（6）飛行機を整備する

陸・海軍において飛行機の整備を担当した兵士たちの資料を中心に、戦争と航空機事情の一端を紹介

8 関連事業

(1) 記念講演会等

ア 特別記念講演会

講師：一ノ瀬俊也氏（埼玉大学教授）

日時：8月23日（日）午後2時から

タイトル：「出征兵士の手紙を読む」

※その他記念講演会1回予定、講師未定

イ 歴博講座

講師：田中里張（本館学芸員）

日時：未定

タイトル：未定

(2) 関連イベント

クイズラリー、上映会等を予定

(3) 展示説明会

土曜日2回 14時から

9 印刷物

- ・ポスター B1判、オールカラー予定
- ・チラシ A4判、表面カラー・裏面2色刷り予定
- ・図録 A4判、80ページ、オールカラー予定